



# WCS およびエンド ユーザ ライセンス

この付録では、Cisco Wireless Control System (WCS) に適用されるエンド ユーザ ライセンス契約および保証について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- [WCS ライセンス \(P. A-2\)](#)
- [限定保証 \(P. A-10\)](#)
- [限定保証の説明およびエンド ユーザ ライセンス契約に適用される一般条項 \(P. A-11\)](#)
- [オープン ソースに関する追加条項 \(P. A-12\)](#)

## WCS ライセンス

Cisco Wireless Control System (WCS) ライセンスを購入する前に、Base または Location のどちらのライセンスが必要なのか、サポート対象でライセンスが付与されるアクセス ポイントはいくつ必要なのかを決定します。

2 種類の Cisco WCS は、次の異なる機能レベルをサポートしています。

- **Cisco WCS Base** は WCS の標準機能をサポートしています。これには、無線クライアント データ アクセス、不正アクセス ポイント阻止機能、Cisco WLAN Solution の監視および制御、最も近いアクセス ポイントへのクライアントと不正アクセス ポイントのロケーション機能が搭載されています。
- **Cisco WCS Location** には、Cisco WCS Base に搭載されたすべての機能のほかに、オンデマンドで単一の Wi-Fi デバイスを追跡する機能や、Cisco Wireless Location Appliance を追加することで最高 2500 個の Wi-Fi デバイスの同時追跡にまでロケーション機能を拡張する機能が搭載されています。

### ライセンスの種類

既存の Cisco WCS 展開のライセンス情報は、Cisco Unified Wireless Network Software Release 4.0 をサポートするように、アップグレードされています。(以前の Cisco WCS SKU が使用できる 2006 年 9 月までに、新しい Cisco WCS SKU を購入されるようお勧めします。ライセンスのシームレスな移行については、オンラインの WCS 発注方法のガイド ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6305/products\\_data\\_sheet0900aecd804b4646.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6305/products_data_sheet0900aecd804b4646.html)) を参照してください)。この章では、Cisco WCS の新規ライセンスまたは拡張ライセンス、CiscoWorks Wireless LAN Solution Engine (WLSE) から Cisco WCS への移行、Cisco WCS Location オプションへのアップグレード、および無料の Cisco WCS デモンストレーション ライセンスの展開について説明します。Cisco Wireless Control System (WCS) ライセンスのバージョンは、次のとおりです。

- **WCS-STANDARD-K9** — Cisco WCS 4.0 の新規ライセンスまたは拡張ライセンスをご購入のお客様向け



(注) アクセス ポイントの数がライセンスの制限を超える場合には、アラームが生成されます。また、ユーザが WCS にログインした際、ライセンスを供与されたアクセス ポイントのカウントが制限を越えたときも警告されます。

- **WCS-WLSE-UPG-K9** — CiscoWorks WLSE(モデル 1130)から Cisco WCS へ移行する CiscoWorks WLSE のお客様向け。CiscoWorks WLSE から Cisco Unified Wireless Network アーキテクチャへの移行の手順については、付録 C の「[WLSE Autonomous から WCS コントローラへの展開の変換](#)」を参照してください。



(注) Dell プラットフォームは、サポートされていません。



(注) CiscoWorks WLSE Express (モデル 1030) および CiscoWorks WLSE (モデル 1105 または 1133) は、この SKU ではサポートされていません。CiscoWorks WLSE CD を CiscoWorks WLSE Express (モデル 1030) または CiscoWorks WLSE (モデル 1105 または 1133) にインストールしないでください。この変換は動作しません。また、シスコシステムズでは、これをサポートしません。

- WCS-LOC-UPG-K9 — 既存の Cisco WCS Base ライセンスから Cisco WCS Release 4.0 の同等の Cisco WCS Location ライセンスへアップグレードするお客様向け
- AIR-WCS-DEMO-K9 — 新しいフル機能付きのロケーション機能有効の無料 Cisco WCS デモンストレーション ライセンスをダウンロードするお客様向け。このライセンスは、30 日間 10 か所のアクセス ポイントをサポートします。



(注) 無料の 30 日間試供版ライセンスは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) でサポートされていません。

## ライセンスの施行

Cisco Unified Wireless Network Software Release 4.0 は、ソフトウェア ベースのライセンスを施行します。すべての新しい Cisco WCS SKU ファミリでは、ライセンス ファイルに入る際にプロンプトが表示されます。Release 4.0 へ移行するお客様は、ライセンス 供与についても影響を受けます。シスコから PAK 証明書をまだ受け取っていない場合にはシスコの営業担当者または TAC へお問い合わせの上、製品の認証キー (PAK) の証明書を受け取ってください。詳細は、WCS 発注方法ガイド ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6305/products\\_data\\_sheet0900aecd804b4646.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6305/products_data_sheet0900aecd804b4646.html)) を参照してください。

すべての Cisco WCS ライセンスは購入するか、通常シスコ発注方法の手順により Cisco.com から直接入手できます。Cisco Unified Wireless Network Software Release 4.0 は、Cisco.com からダウンロードするか、名目的費用の場合、CD (WCS-CD-K9) を WCS-STANDARD-K9 または WCS-LOC-UPG-K9 SKU ファミリから購入できます。WCS-CD-K9 では Cisco WCS バージョン 4.0 の 1 つのソフトウェアの画像が CD に収録されています。適切な Cisco WCS インストーラを選択して、Windows バージョンか Linux バージョンかを指定できます。Cisco WCS Base 機能または Location 機能とアクセス ポイントの数は、最初に購入した Cisco WCS SKU に付属しているライセンス ファイルを挿入することでインストール後にアクティブ化されます。この CD は、米国の郵便で購入者の住所へ出荷されます。

WCS-WLSE-UPG-K9 SKU ファミリの場合、この特定の SKU ファミリのいずれかを発注しても、2 枚の CD が自動的に出荷されます。これらの CD は、Cisco Works WLSE プラットフォームを Cisco WCS に変換するという特別な目的を持った CD です。

Cisco WCS 無料デモンストレーション ライセンス、AIR-WCS-DEMO-K9 をご利用になる場合は、Cisco.com からソフトウェアをダウンロードしてください。30 日間の試用期間中に、有効期限のない Cisco WCS SKU ファミリのいずれかを購入して、ライセンス ファイルを適用すると、この無料ライセンスを有効期限のないいずれかの Cisco WCS SKU にアップグレードできます。

## 製品の認証キーの証明書

すべての Cisco WCS SKU には、Cisco WCS ライセンスを登録する際に PAK 証明書が必要です。PAK は、Cisco WCS ライセンス購入時にシスコ システムから米国郵便で送付される印刷された証明書です。PAK 証明書により、Cisco WCS ライセンスを受け取ることができます。証明書を使用して Cisco WCS が登録され、ライセンス ファイルが生成されます。すべてのお客様が PAK 証明書に記載されている PAK 登録サイトに移動して、Cisco WCS 登録を完了する必要があります。PAK 証明書には、Cisco WCS ライセンス 供与のプロセスを完了する方法について分かりやすい方法が記載されています。



(注) ダウンロードまたは CD を介して Cisco.com から Cisco WCS をご購入のすべてのお客様は、PAK サイトで登録して Cisco WCS ライセンスをアクティブ化する必要があります。お客様は米国の郵便で PAK を受け取ります。Cisco WCS は、PAK 登録プロセスが完了するまでアクティブ化されません。

## 使用するライセンスの決定

展開状況、サポートするアクセス ポイント数、および Cisco WCS オプション (Base または Location) に基づいて適切なライセンスを選択してください。SKU ファミリ内のすべての SKU では、Base には Base、Location には Location のように該当するオプション レベルに組み合わせることができます。同等でないオプション レベル (Base と Location) を混在させることはできません。WCS では、一度に 1 種類のライセンスしか使用できません。たとえば、コンピュータに Location のライセンスがある場合、Base のライセンスを追加できません。アクセス ポイントのカウントを増やすには、ライセンスを購入して現在のライセンスに追加できます。たとえば、50 のアクセス ポイントを持つ Location ライセンスがあり、1 年間でさらにアクセス ポイントを追加する必要がある場合、100 のアクセス ポイントを持つ別の Location ライセンスを購入して WCS に適用し、150 のアクセス ポイントの Location ライセンスを持つ WCS にすることができます。ライセンスを追加して、50、100、500、1000、または 2500 の差分でアクセス ポイント数を増加できます。



(注)

所有する Base ライセンスを Location にアップグレードする場合には、Location アップグレード ライセンスを購入する必要があります。Location アップグレード ライセンスは、Base ライセンスを持つアクセス ポイントの合計数と同じ数を購入する必要があります。たとえば、50、100、および 200 のアクセス ポイント (合計 350 のアクセス ポイント) をサポートする 3 つの Base ライセンスを所有する場合、350 のアクセス ポイントをサポートする単一の Location アップグレード ライセンスを購入する必要があります。

## ライセンスのインストール

ライセンスをインストールするには、Wireless Control System ライセンス キー ファイルが必要です。キー ファイルは、シスコシステムズから電子メールで配布されます。このファイルによって、ご購入の Cisco Wireless Control System (WCS) の機能がアクティブ化されます。.lic ファイルのコンテンツをどのような方法であっても編集しないでください。ファイルが使用できなくなります。



(注)

ライセンスなしで WCS バージョン 4.0 にアップグレードした場合、重大なアラームを 1 日に一度、またライセンスがないことについて通知を WCS にログインするたびに受け取ります。ライセンスがなくても、新たなコントローラの追加を除くすべての WCS の機能にアクセスできます。

電子メールを印刷し、添付ファイルを取り外し可能なメディアに保存し、今後自分自身や組織の誰が必要となった場合に備えて安全な場所に保管することを強くお勧めします。

次の手順に進む前に、WCS サーバ ソフトウェアがサーバにインストールされ、設定されていることを確認してください。

WCS ライセンスをインストールする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** ライセンス ファイル (.lic) をハード ドライブの一時ディレクトリに保存します。
- ステップ 2** Internet Explorer ブラウザの対応バージョンを開きます。
- ステップ 3** Location フィールドまたは Address フィールドに、次の URL を WCS サーバの IP アドレスまたはホスト名に置換して入力します。https://<IP アドレス>

- ステップ 4** WCS サーバへシステム管理者としてログインします。ユーザ名とパスワードは、大文字と小文字を区別します。
- ステップ 5** Help メニューから、**Licensing** を選択します。
- ステップ 6** Licensing ページで、Select a command drop-down メニューから **Add License** を選択します。
- ステップ 7** Add License ページで、**Browse** をクリックして .lic ファイルを保存した場所へ移動します。
- ステップ 8** **Upload** をクリックします。

WCS サーバがライセンスをインポートします。

アップロードの際には、次の項目を確認します。

- ライセンス ファイルの有効性
- ライセンスと WCS システムのホスト名の合致
- インストールしたライセンス ファイルには、「ロケーション機能」が含まれている必要があります。たとえば、Base または Location です。
- インストールしたファイルの「ロケーション機能」(Base または Location) は、システムのものとは一致している必要があります。

ライセンス ファイルに関する問題が発生した場合、800-553-2447 または [licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com) で Cisco Licensing チームにお問い合わせください。

## ライセンスの管理

**Help > Licensing** の順に選択して、Licenses ページにアクセスします。

このページで、現在インストールされているライセンスのリストの表示、ライセンスの追加、およびライセンスの削除を実行できます。

表示されるライセンスの情報は、次のとおりです。

- ホスト名
- タイプ
- AP カウント (アクセス ポイントまたはサイト ライセンスの指定数に対する数)
- ライセンス付与の割合
- 現在使用しているライセンスのキャパシティ

表示されるライセンスのリストは、次のとおりです。

- 個々のライセンスの概要
- ID : ライセンスの一意的識別子
- Host (ホスト) : このホスト マシンに適用されるライセンス
- Type (タイプ) : Location または Base
- AP Count (AP カウント) : リストに表示されたライセンスに対するアクセス ポイント数。AP Count in License Information 列と一致する必要があります。
- Expires (有効期限) : ライセンスの期限が失効した時点

## ライセンスの追加

次の手順に従って、ライセンスを追加します。

- 
- ステップ 1** Select a Command ドロップダウン リストから、**Add License** を選択し、**GO** をクリックします。
  - ステップ 2** **Browse** をクリックして、追加するライセンス ファイルを検索します。
  - ステップ 3** **Upload** をクリックします。
- 

## ライセンスの削除

次の手順に従って、ライセンスを削除します。

- 
- ステップ 1** Licenses ウィンドウの License List 部分で、削除するライセンスのチェックボックスをオンにします。
  - ステップ 2** Select a command ドロップダウン リストから、**Delete License** を選択し、**GO** をクリックします。
- 

## ライセンスのバックアップと復元

ライセンス ファイルをバックアップと復元プロセスの一部として保存しておく、WCS のアップグレードでライセンス ファイルの再入力が必要となることはありません。ただし、復元済みライセンスを稼動するには、復元データが同一のホスト名でシステム上に配置されている必要があります。システム上にアップグレードしたライセンスをインストール済みである場合、オリジナルのライセンスを再インストールしてからアップグレードライセンスを再インストールする必要があります。たとえば、Base ライセンスから Location ライセンスへアップグレードしている場合、再インストールの際には、まず Base ライセンスをインストールしてから Location ライセンスをインストールします。WCS データベースのバックアップと復元については、「[WCS データベースのバックアップ](#)」の項 (P. 10-4) および「[WCS データベースの復元](#)」の項 (P. 10-7) を参照してください。

## エンドユーザーライセンス契約

**重要：**本エンドユーザーライセンス契約をよくお読みください。シスコのソフトウェアまたはシスコが提供するソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用することにより、お客様は本ライセンス契約に同意したものと見なされます。

お客様が本ライセンス契約に記載されているすべての条項に同意される場合のみ、シスコは本ソフトウェアのライセンスをお客様に許諾いたします。本ソフトウェアのダウンロード、インストール、または本ソフトウェアを内蔵する機器の使用により、お客様およびお客様が代表する企業体（以下、総称して「お客様」）は本契約に法的に拘束されます。本契約のいずれかの条項に同意されない場合は、シスコでは本ソフトウェアのライセンスを許諾いたしかねますので、本ソフトウェアのダウンロード、インストール、使用を行わないでください。この場合、お客様は、本ソフトウェアを返却して代金の全額払い戻しを受けるか、または本ソフトウェアが他の製品の一部として供給された場合には当該製品全体を返却して代金の全額払い戻しを受けることができます。返却および代金払い戻しの有効期限は、シスコまたはシスコにより認定されたリセラーから本ソフトウェアを購入後 30 日間であり、お客様が最初のエンドユーザー購入者である場合にのみ適用されます。

(a) お客様とシスコの間にお客様による本ソフトウェアの使用に関する署名済みの契約が別途存在する場合、または (b) インストールまたはダウンロードプロセスの一部としてソフトウェアに「クリック合意」ライセンス契約が別途含まれている場合を除き、本エンドユーザーライセンス契約（以下「契約」）の以下の条項が、お客様の本ソフトウェアへのアクセスおよび使用に対して適用されます。上記契約の条項に対立する内容が含まれている場合、契約の優先順位は (1) 署名済みの契約、(2) クリック合意契約、(3) 本エンドユーザーライセンス契約の順とします。

**ライセンス。**シスコシステムズ、またはシスコに代わりソフトウェアのライセンスを許諾するその関連子会社（以下「シスコ」）は、お客様に対し、本契約の条件に従うことを条件とし、お客さまが規定のライセンス料を支払ったソフトウェアおよび資料をお客様の社内業務目的で使用するための非独占的かつ譲渡不能なライセンスを許諾します。「資料」とは、特に本ソフトウェアに関して（ユーザ マニュアル、テクニカル マニュアル、トレーニング資料、仕様などに）記載されている情報のことであり、シスコから（CD-ROM、オンラインなどの）何らかの方法でソフトウェアとともに提供されます。

お客様が本ソフトウェアを使用するためのライセンスは、単一のハードウェア シャーシまたはカード、あるいは、シスコが同意済みの適用可能な発注書に記載された、お客様がシスコに支払った規定のライセンス料に相当する数のエージェント、同時ユーザ、セッション、IP アドレス、ポート、シート、サーバ、またはサイトに制限され、お客様はこれを超えてソフトウェアを使用しないものとします。

関連資料に明示されていない限り、お客様は本ソフトウェアを、お客様が所有または貸借している、お客様の社内業務目的に使用されるシスコ機器に内蔵されたものとして、かかるシスコ機器での実行、または（関連資料によってシスコ以外の機器へのインストールが許可されている場合には）かかるシスコ機器と通信のみを目的として使用するものとします。注：シスコがライセンス料を徴収しない評価版またはベータ版については、上記のライセンス料の支払い要件は適用されません。

**一般的な制限。**本契約は、ソフトウェアおよび資料の使用許諾であり、所有権を譲渡するものではありません。すべてのソフトウェアおよび資料の所有権はシスコが保有しています。お客様は、ソフトウェアおよび資料には、個々のプログラムの固有の内部設計と構造、関連インターフェイス情報などの、シスコおよびそのサプライヤ、またはライセンサの企業秘密が含まれていることを認めるものとします。したがって、本契約で明示的に規定されている場合を除き、お客様は、以下の行為を行う権利はなく、また以下の行為を行わないことに同意するものとします。

(i) 他者等へのお客様のライセンス権利の譲渡または二次ライセンスの付与、あるいは未承諾または中古のシスコ機器での本ソフトウェアの使用。お客様は、かかる譲渡、二次ライセンスの付与、または使用は無効であることを認めるものとします。

- (ii) 本ソフトウェアに対するエラー修正またはその他の変更および改変、本ソフトウェアに基づく派生著作物の作成、または第三者への当該行為の許可。
- (iii) 本ソフトウェアを、リバース エンジニアリング、逆コンパイル、復号化、逆アセンブル、またはその他の方法により、判読可能な形式に変換すること。ただし、この制限にかかわらず、適用される法律により明示的に許可されている場合を除きます。
- (iv) シスコの書面による許可なく、サービス ビューロ、タイム シェアリング、またはその他の方法により、第三者へのサービス提供を目的として本ソフトウェアを使用、または使用を許可すること。
- (v) シスコの書面による事前の同意なしに、本ソフトウェアおよび資料に含まれる企業秘密を第三者に対して開示、提供、またはその他の何らかの方法により公開すること。お客様は、かかる企業秘密を保護するための適切なセキュリティ対策を講ずるものとします。
- (vi) 本ソフトウェアを採用した再販目的のソフトウェアアプリケーションの開発のための本ソフトウェアの使用。

シスコは、法律により求められている範囲内で、お客様からの書面による依頼に応じて、本ソフトウェアと独自に開発された他のプログラムとの互換性を実現するために必要なインターフェイス情報を、シスコが妥当と見なす料金が支払われた場合にお客様に提供するものとします。お客様は、当該情報について厳重な秘密保持義務を負うものとし、シスコが当該情報を提供する際には、適用される条件に従って当該情報を使用するものとします。お客様は、本契約で特に許可されている場合を除き、その他の知的所有権に対する暗黙の使用許諾は付与されていません。

**ソフトウェアのアップグレードおよび追加の複製物。**本契約で言及する「ソフトウェア」には、シスコまたは認定されたシスコのリセラーからお客様に提供されたコンピュータ プログラム（ファームウェアを含む）と、シスコまたは認定されたシスコのリセラーからお客様にライセンス許諾または提供された本ソフトウェアのアップグレード版、アップデート版、バグ修正版、または修正版（以下、総称して「アップグレード」）、またはバックアップ コピーが含まれ、本契約の条件が適用されるものとします。本契約の他の規定に関係なく、下記の条項が適用されます。(1) お客様が、かかる追加の複製物またはアップグレードの取得時に、オリジナルのソフトウェアの有効なライセンスを保持し、アップグレードまたは追加の複製物に対する適切な料金を支払っている場合を除き、お客様にはいかなる追加の複製物またはアップグレードを使用するライセンスまたは権利もなく、(2) アップグレードの使用は、お客様が最初のエンド ユーザ 購入者または賃借者であるか、またはアップグレードされるソフトウェアに対して有効なライセンスを保持しているシスコ機器に限定され、(3) 追加の複製物の作成および使用は、必要なバックアップ用途のみに限定されます。

**所有権の表示。**お客様は、いかなる形式であれ、本ソフトウェアのすべての複製物について、あらゆる著作権およびその他の所有権の表示を、それらの著作権およびその他の所有権の表示が本ソフトウェアに含まれているのと同じ形式かつ方法で保持し、複製することに同意します。本契約で明示的に認可されている場合を除き、お客様は、シスコから事前に書面による許可を得ることなく、本ソフトウェアの複製物を作成しないものとします。

**オープン ソース コンテンツ。**お客様は、本ライセンス契約の添付書類、本ソフトウェアの README ファイル、または資料のいずれかに別途規定されたライセンスおよび著作権要件の下で、本ソフトウェアにはオープン ソースまたは公開されたコンテンツが含まれていることを認めるものとします。お客様は、かかる別途規定されたライセンスおよび著作権の要件に従うことに同意するものとします。

**第三者受益。**特定のシスコまたはシスコの関連サプライヤは、本契約の第三者受益対象です。本契約の条件は、シスコのサプライヤの利益のために明示的に規定され、法的強制力を持っています。ただし、これは当該代理店がお客様と契約関係にない場合です。シスコのサプライヤには下記が含まれますが、これに限定されません。(a) Hifn, Inc. (750 University Avenue, Los Gatos, California に本社を置くデラウェア法人)。(b) Wind River Systems, Inc. およびそのサプライヤ。お客様に提供される資料が今後更新される際に、サプライヤが追加される可能性があります。



**期間および終了。**本契約、および本契約内で許諾されているライセンスは、終了時に至るまで有効です。お客様は、本ソフトウェアと資料のすべての複製物を廃棄することにより、本契約およびライセンスをいつでも終了させることができます。本契約に基づくお客様のライセンス権利は、お客様が本契約のいずれかの規定に従わない場合、シスコからの通告なしに、ただちに終了します。お客様が本ソフトウェアをライセンス制限に違反して使用した場合には、シスコおよびそのサプライヤは、差し止めによる救済を受ける権利も有します。お客様は、本契約の終了時に、お客様が保有または管理する本ソフトウェアおよび資料のすべての複製物を廃棄する必要があります。お客様のあらゆる守秘義務、あらゆる責任制限、および保証の放棄と制限はすべて、本契約終了後も存続するものとします。さらに、「米国政府機関がエンド ユーザ購入者である場合」および「限定保証の記述とエンド ユーザ ライセンス契約に適用される一般条項」の各項の規定についても、本契約終了後も存続するものとします。

**お客様の記録。**お客様は、シスコとその独立会計士に対して、お客様の通常の営業時間中にお客様の帳簿、記録、財務諸表を査察し、本契約の条項に従っていることを確認する権利を認めるものとします。かかる査察において本契約に従っていないことが明らかになった場合は、お客様はただちにシスコに対して、適切なライセンス料と査察に要した相応の経費を支払うものとします。

**輸出。**本ソフトウェアおよび資料は、技術データを含め、米国輸出管理法とその関連法規を含む米国輸出規制法の対象となります。また、他国の輸出入規制の対象になることがあります。お客様は、かかる規制のすべてを厳密に遵守することに同意し、また、本ソフトウェアおよび資料を輸出、再輸出、または輸入するためのライセンスを取得する責任があることを認めるものとします。お客様がかかる制限に従わない場合は、本契約に対する重大な違反と見なされます。

**米国政府機関がエンド ユーザ購入者である場合。**本ソフトウェアおよび資料は、Federal Acquisition Regulation (FAR; 連邦調達規則) (以下「FAR」) (48 C.F.R.) 2.101 で定義される「商品目品」に分類されます。これは、「商用コンピュータ ソフトウェア」および「商用コンピュータ ソフトウェア関連資料」で構成されます (当該用語は FAR 12.212 で使用されています)。FAR 12.212 および DoD FAR 補則 227.7202-1 ~ 227.7202-4 に一致している場合は、本エンド ユーザ ライセンス契約が含まれる契約にこれと異なるその他の FAR または契約条項があったとしても、お客様が政府機関のエンド ユーザに提供可能であり、本契約書が直接適用される場合に政府機関のエンド ユーザが入手するのは、本エンド ユーザ ライセンス契約で規定された権利のみが認められた本ソフトウェアおよび資料になります。ソフトウェアと資料のいずれか、または両方を使用することにより、政府機関は、本ソフトウェアと資料が「商用コンピュータ ソフトウェア」および「商用コンピュータ ソフトウェア関連資料」であることに同意し、この契約書に規定されている権利および制限に同意したことになります。

## 限定保証

ソフトウェア。シスコは、お客様への出荷日から（認定されたシスコのリセラーが販売した場合は、シスコが最初に出荷した日から 90 日以内から）、(a) 90 日後、または (b) 本製品に保証カードが添付されておりソフトウェアの保証期間が記載されている場合はその保証期間、のいずれか長い方の期間内で、(a) 通常の使用においては、本ソフトウェアの提供媒体に材質上および製造上の欠陥がないこと、および (b) 本ソフトウェアが公示仕様に実質的に適合していること、を保証します。シスコからの本製品の出荷日は、本製品出荷時の梱包材に記載されています。上記の場合を除き、本ソフトウェアは「現状のまま」提供されます。この限定保証は、オリジナル ライセンスを付与されているお客様に対してのみ適用されます。この限定保証に基づくお客様への唯一の救済として、シスコとそのサプライヤ、およびライセンサの全責任において、シスコまたはお客様への本ソフトウェアの提供者に報告（あるいは、要求に応じて返却）があった場合に、シスコは本ソフトウェアの修理、交換、または返金を任意で行います。シスコは、本ソフトウェアにエラーが発生しないこと、またはお客様が本ソフトウェアを支障または障害なく使用できることを保証しません。また、日々新たな方法によるネットワークへの侵入や攻撃が試みられるため、シスコは本ソフトウェア、あるいは本ソフトウェアが使用される機器、システム、またはネットワークがかかる侵入または攻撃を受けないことを保証しません。

**制約事項。**本保証は、本ソフトウェア、本製品、または本ソフトウェアの使用が許可されているその他の機器が、(a) シスコまたはシスコにより認定された販売代理店以外で改変された場合、(b) シスコが提供する説明書に従ってインストール、運用、修理、または保守されなかった場合、(c) 過剰な物理的または電氣的負荷、誤使用、不注意、または事故による障害を受けた場合、または (d) シスコが購入代金やライセンス料を徴収しないベータ版、評価版、試験版、またはデモンストラーション版用としてライセンス供与されている場合、には適用されません。

## 保証の放棄

本保証に明記されている場合を除き、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害、良好な品質、不干渉、情報内容の正確性に関する黙示保証 / 条項、または取引の過程、慣例、慣習、または取引慣行で発生する黙示保証 / 条項を含みこれらに限定されない、一切の明示または黙示の条項、表明、および保証は、適用される法で許可される範囲において除外され、シスコおよびそのサプライヤとライセンサによって明示的に放棄されます。除外されない黙示保証については、明示されている保証期間内に限られます。州または司法管轄区域によっては、黙示保証の有効期間を限定することが許可されていないため、お客様に上記の制限が適用されない場合があります。この保証はお客様に特別な法的権利を付与するものであり、お客様は司法管轄区によって異なるその他の権利を有する場合もあります。この放棄と除外は、上記の明示の保証がその本来の目的を達成できない場合であっても適用されるものとします。

## 限定保証の説明およびエンド ユーザ ライセンス契約に適用される一般条項

**責任の放棄。**本契約に記載されている救済の本来の目的を達成不可能であったかどうかにかかわらず、シスコおよびそのサプライヤは、すべての収益および利益の損失、データの損失または損傷、業務の中断、資本の喪失、または特殊、間接的、派生的、偶発的、または懲罰的な損害に対して、損害発生の原因を問わず、かつ責任の根拠、あるいは本ソフトウェアの使用または本ソフトウェアが使用不可能なことが原因で発生したかどうかにかかわらず、シスコまたはその販売代理店、あるいはライセンサがかかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切責任を負いません。シスコおよびそのサプライヤ、またはライセンサのお客様に対する責任は、契約の記載、不法行為（過失を含む）、保証の不履行その他の有無を問わず、クレームを生じた本ソフトウェアに対してお客様が支払った金額を超えないものとし、本ソフトウェアが別の製品に組み込まれている場合は、かかる別製品に支払った金額を超えないものとします。州または司法管轄区域によっては、結果的または偶発的な損害の制限または除外が許可されていないため、お客様に上記の制限が適用されない場合があります。

お客様は、お客様が本ソフトウェアまたはシスコが提供するその他の製品またはサービスを受け入れたかどうかにかかわらず、本契約に記載されている責任の制限および放棄が適用されることに同意するものとします。お客様は、シスコが本契約に記載されている保証の放棄および責任の制限をよりどころとして価格を設定し、本契約を結んでいること、同様のことが当事者間のリスク配分（契約上の救済における本来の目的を達成することができず、結果的に損害が生じるリスクを含む）に反映され、当事者間での取引の基本を成すことを認め、これに同意するものとします。

保証およびエンド ユーザ ライセンス契約は、法規または法的原則の選択を参照または適用することなく、カリフォルニア州の法律に準拠し、これによって解釈されます。国際物品売買契約に関する国連条約は適用されないものとします。本契約の一部が無効または施行不能になったとわかった場合も、本契約における他の条項は完全に効力を保持するものとします。本契約に明記されている場合を除き、本契約は、本ソフトウェアおよび資料のライセンスに関する当事者間の完全な合意を成すものとし、発注書等に相反する条件または追加条項が含まれている場合は、それらの条件はすべて除外され、本契約が優先されます。本契約は英語で記述されており、当事者は英語版に適用されることに同意するものとします。特定の国において適用される保証またはライセンス条件と、上記情報の翻訳については、Cisco Legal Department (300 E. Tasman Drive, San Jose, California 95134) にお問い合わせください。

## オープン ソースに関する追加条項

**GNU 一般公有使用許諾。**本ソフトウェアの一部は GNU 一般公有使用許諾バージョン 2 に基づいて使用許諾されており、お客様が当該部分を使用する場合はこれに従う必要があります。この使用許諾書は、[www.fsf.org](http://www.fsf.org) から、あるいは [licensing@fsf.org](mailto:licensing@fsf.org) または Free Software Foundation (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307) にメールまたは書面で依頼することにより入手できます。GNU 一般公有使用許諾バージョン 2 が適用されるソース コードは、Cisco Legal Department (300 E. Tasman Drive, San Jose, California 95134) に書面で依頼することにより入手できます。

**SSH ソース コードに関する説明。**© 1995 - 2004 SAFENET, Inc. このソフトウェアは国際著作権法によって保護されています。All rights reserved.SafeNet は、SAFENET, Inc. の米国および一部のその他の司法管轄区域における登録商標です。SAFENET および SAFENET のロゴは SAFENET, Inc. の商標であり、特定の司法管轄区域で登録されている可能性があります。その他の名称および商標は、それぞれの所有者の所有物です。

Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995 The Regents of the University of California.All rights reserved.

本ソフトウェアは、評議員および寄与者によって「現状のまま」提供され、一切の明示または黙示の保証（商品性の黙示保証および特定目的に対する適合性を含むがこれに限定されない）は放棄されます。評議員または寄与者は、本ソフトウェアの使用から生じた直接的、間接的、偶発的、特殊、懲罰的、または派生的な損害（代替品または代替サービスの調達、使用機会、データ、または利益の損失、あるいは業務の中断を含むがこれに限定されない）について、損害発生の原因を問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか、不法行為（過失等を含む）であるかを問わず、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切責任を負いません。

本ソフトウェアのコンポーネントは、著作権保有者として以下の氏名が明記された標準の 2 項から成る BSD ライセンスに従って提供されます。

- Markus Friedl
- Theo de Raadt
- Niels Provos
- Dug Song
- Aaron Campbell
- Damien Miller
- Kevin Steves